

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度 第6回和田区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

（1）地域協議会会長会議について（公開）

（2）地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて（公開）

（3）和田区の地域課題について（公開）

## 3 開催日時

平成28年12月6日（火） 午後6時28分から午後8時28分まで

## 4 開催場所

ラーバンセンター 第2・3研修室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：水澤俊彦（会長）、橋本 勲（副会長）、秋山澄子、有坂正一、泉 幸雄、  
岩澤 弘、植木泰行、笠原完治、小林春男、高橋善昭、土屋史郎、  
平原 匡、前川正治

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

## 8 発言の内容

### 【榎島係長】

- ・市橋委員を除く13名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は水澤会長が務めることを報告

### 【水澤会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：植木委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

—地域協議会会長会議について—

【水澤会長】

次に、次第3報告(1)「地域協議会会長会議について」に入る。

1月7日に会長会議が開かれ、私が出席したので報告する。

資料No.1及び参考資料に基づき報告。

質疑を求めるがなし。

【榎島係長】

- ・和田区協議会からの提案に対する市の回答あり
- ・平成29年度の地域活動支援事業は今年度と変更なし、新年度の採択方針や審査方法の検討依頼あり

—地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて—

【水澤会長】

次に、次第4議題(1)「地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて」、事務局に説明を求める。

【榎島係長】

資料No.2、3、4、5により説明。

【水澤会長】

事務局案について、質疑を求める。

【有坂委員】

ルールについて聞きたい。

今年度は予算を上回る提案があったことから、採択に当たり個々の事業への補助

額をどう減らすかという議論をした。補助額の減額方法はこの議題の中で決めなくてよいか。

**【水澤会長】**

事務局に説明を求める。

**【榎島係長】**

前回の会議で、そのような場合のルールをあらかじめ定めてはどうかという意見に対し採決を行い、12人出席、会長を除き賛成6、反対5だった。過半数の7に達しなかったことから、定めないことに決まった。

このことから、審査結果を見て、減額方法を委員がゼロから話し合っていたくものと理解している。

**【前川委員】**

資料No.5の審査採点シートの適合しない理由の欄は、該当するもの3つにチェックをつけてその理由を隣に記載する様式になっているが、審査時間を考えると理由を記載する欄をなくし、より具体的に記載した6つくらいの中から該当するものをチェックするのみとすることはできないか。

**【水澤会長】**

事務局に説明を求める。

**【榎島係長】**

基本審査は、資料No.3募集要項1ページに記載した地域活動支援事業の目的「身近な地域における課題の解決を図り、それぞれの地域の活力を向上するため、市民の皆さんが自発的、主体的に行う地域活動について支援を行います。」に合致するかを審査するもの。この目的の文を3つに分けて、どれに該当するかをチェックしてもらった内容になっている。

地域の課題解決につながらないと判断したのはどうしてか、という理由を補足していただくことが必要と考え、隣の枠に記載する様式を考えた。

**【前川委員】**

そう判断した理由を書けというなら、目的を細分化したものに増やして時間短縮を図った方がよいと思う。例えば私が地域の課題解決につながらないと判断してチ

チェックをした後に、その理由を書くためにいろいろ考える。それなら、いろいろ考える時間が必要ないように、ここに細かく理由をあげてもらえればよいと思う。理由を書くことがそんなに必要なのか。

**【水澤会長】**

事務局に説明を求める。

**【榎島係長】**

通常なら、課題解決につながらないと判断した理由があるだろうと考えた。そしてその理由を書くことで、提案者に対する説明責任を果たす必要があるのではないかと、この様式にした。

また時間については、適合するとした委員は、次の優先採択審査や共通審査へ進むのに対し、適合しないとした委員はその必要がないため理由を記載する時間はあると考えた。

**【前川委員】**

他の委員が次の審査に進んでいる間に書くということは分かった。

判断した理由を書かなければならないことも分かったが、理由を選ぶようにすれば簡単にいくのではないかとも思うが、今の説明でだいたい理解できた。

**【水澤会長】**

基本審査は、目的に合致しているかどうかを見る。事務局は提案された段階で、目的に合っているだろうということで受付をする。少しでも目的に合致する可能性がある提案は、事務局としては受け付けて委員から審査をしてもらう。基本審査、優先採択審査ともそうだと思う。

**【前川委員】**

判断した理由を重視して丁寧に書くのか、あるいは簡単に書いてよいかを、やはり委員は考えてしまう。簡単に書けば失礼だと、本当の気持ちを枠が足りなくなるくらい書く委員もいるかもしれない。

だから、委員がこういう思いで書いたのだというものを重視していくのか。

**【水澤会長】**

基本的にそう思う。

委員として提案者に対し、この提案はこういう理由で基本審査に合致しないということを説明しなければいけない。そうでなければ適合しないとはできないと思う。よいか。

【前川委員】

はい。

【岩澤委員】

基本審査と優先採択審査以降は同じ日にするのか。

【水澤会長】

同じ日にする。

【岩澤委員】

提案が適合しないとなると、その提案者はその場で帰ってもらうということか。

【水澤会長】

地域協議会としての基本審査結果は、全ての審査結果が集計されて分かる。そこで1人が基本審査で適合しないとしたとしても、他の委員が基本審査に適合するとすれば、優先採択審査や共通審査による採点の結果をもとに採択の審議へ進む。

集計の結果、基本審査に適合しない委員が過半数であれば、そこで不採択となる。

【岩澤委員】

今年初めて審査採択に加わったが、その時にはわれわれは基本審査をしていなかったということよいか。

【水澤会長】

基本審査をした。ただ、適合しない委員が過半数ということにはなかった。あっても1人、2人程度。他の委員が適合するとした中で、適合しないとしたのだから、きちんとした理由を書くべきだと思う。

それだけ審査には慎重を期さなければならないのと、中身をしっかり見ていただきたいということだと思う。

【岩澤委員】

今年同様、資料は早めに見せてもらえるのか。

【水澤会長】

そのとおり。

【岩澤委員】

資料を見て判断するというだけでよいか。

【水澤会長】

そのとおり。

【岩澤委員】

分かった。

【水澤会長】

他に質疑を求めるがなし。

事務局案のとおり決定することを諮り、委員全員の了承を得る。

—和田区の地域課題について—

【水澤会長】

次に、次第4議題（2）「和田区の地域課題について」に入る。

前回の会議で委員を3グループに分け、地域課題の議論を進めることにした。グループ名簿は、資料No.6のとおり。この後、グループ討議に入る。

グループ討議では、自主的審議事項を急ぎ決める必要はない。地域の課題を委員が共有し、議論することが大切。その議論の経過を、最後に全体で共有したい。グループ討議後に3分ずつグループごとに全体発表を。

—グループ討議—

【水澤会長】

Aグループから順にそれぞれ3分程度で発表を。

【岩澤委員】

Aグループは、雪と遊ぶというテーマで話し合った。上越妙高駅近辺で雪に関わるイベント、かまくらや灯ろう作り、除雪車の展示等をしたらどうか。

雪を利用した雪室について、安塚に雪室の先生がいるということでその先生の話を知る勉強会を開いてはどうか、雪室を利用している八海山酒造や岩の原ワインの見学をしてはどうかなど。

雪と遊ぶということは、イベントなので、子どもや親、地域の交流ができる。上越妙高駅に降りた方から立ち寄ってもらいたいという思いもある。

雪なので、季節的に限られるが、雪についていろいろ勉強しながら進めていきたい。小学校の子どもたち、親たちと共に進められるように持っていきたい。

困る雪を利用して楽しもうということテーマにした。これから議論を進めいろいろな方向に持っていきたい。

#### 【土屋委員】

Bグループは、和田区の文化と歴史について調査研究していったらどうかと話し合った。調査対象は文化財の抽出、寺社、史跡、伝説、民話。このようなものを今調査しないと、今後和田区の人に伝承されていかないのではないか、今が最後のチャンスではないか。これに取り組み、任期中に地域活動支援事業につなげていけたらよいという意見が出た。

このような調査により、町内会同士の付き合い、ひいては和田区の交流や和田区の活性化につながる。調査をする中で、課題になっているリーダー養成にもつながっていくのではないかと。

Bグループはしばらく、和田区の文化と歴史について調査していこうとなった。

#### 【前川委員】

Cグループは地域協議会を理解してもらうための懇談会、和田区の歴史、リーダーの育成の3つの話で進んだ。

これまで実施してきた懇談会の内容を、もう少し幅を広げる、中身の濃い話し合いをもった方がよいのでは。そのためには町内会長会との懇談の機会を持って話し合うことがよいという意見が出た。来年以降、中身を煮詰めて懇談をする場を作りたい。

リーダー育成については、消防団員の成り手が若い人いない中で、リーダーを育成するのは難しいと。ならば、若い人たちが出てくる機会を設けて、一緒に活動しながら話し合いをしたり意見を交わしたりする中で、リーダー育成につなげていけばよ

いという意見があった。また、若い人たちが参加する機会があってもなかなか出てこない、どうすれば出てくるかということについては、子どもたちと一緒に参加できる会合を持てばよいのではないかと。

リーダーである60代の私たちが、自分の子どもたちに町内へ出て行くように教育していない、忙しいから出ないでよい、役員を言いつけられるから出ないでよいとしていることもある。これはリーダー不足というより、若い人たちをリーダーにさせる、あるいは町内へ参加させるために家庭の中で意識を持たせることが大事だという意見も出た。

それにつながるのが、和田区全体、あるいは大和、和田の歴史だと。歴史を知り、覚えてもらえるようなことを考えていかないと、和田区の歴史や史跡が埋もれ、誰も知らないまちになってしまう恐れがある。町内会長会で歴史の調査をして、歴史の本を作る予定だという。そのようなものを利用することが、若い人につなげていく大事な方法だと。来年完成すれば、それをもとに歴史を紹介できたらよいと感じる。

**【水澤会長】**

これで終わりではなく今後も継続し、いずれまとめて全体で1つの課題について審議すると思うので、協力願う。

**【泉委員】**

今、前川委員から話があった歴史の本は、和田小校区、大和小校区、和田区ではなく、新井の国賀までの旧和田村を網羅した和田村史を基に準備している。

—事務連絡—

**【水澤会長】**

事務局に事務連絡を求める。

**【佐藤センター長】**

- ・ 次回協議会：今後日程調整
- ・ 上越市新年祝賀会：1月4日（水）午前11時00分～

\*出席を希望される方は、12月15日（木）までに所定の申込先へ連絡願う。



【水澤会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。